



小さくともキラリと光る まちづくり

平泉町総合計画 後期基本計画を 策定しました

町では、平成13年度に「平泉町総合計画」基本構想（13～22年度）と前期基本計画（13～17年度）を策定し、「やすらぎと文化をおりなす千年のまちづくり」を将来像として施策の展開を図ってきました。このたびこれを引き継ぐ後期基本計画（18～22年度）を策定しましたので、その概要をお知らせします。

1 策定の趣旨

前期基本計画の5年間には当町を取り巻く環境に大きな変化がありました。少子高齢化の進行や情報通信技術の発達、市町村合併・地方分権の進展や国・地方を通じた財政状況の悪化などは、当初の予測を上回る速度で進みましたが、中でも大きな変化が人口減少と市町村合併です。日本の総人口は予想より2年早く平成17年に減少に転じましたが、今後、急速に少子高齢化と人口減少が進むことは、地方の経済と自治体にとって大きな影響を与えます。また本町は旧合併特例法の下で、市町村合併を選択せず「当面自立」の方針で町政運営を進めることになりました。

前期基本計画の5年間には当町を取り巻く環境に大きな変化がありました。少子高齢化の進行や情報通信技術の発達、市町村合併・地方分権の進展や国・地方を通じた財政状況の悪化などは、当初の予測を上回る速度で進みましたが、中でも大きな変化が人口減少と市町村合併です。日本の総人口は予想より2年早く平成17年に減少に転じましたが、今後、急速に少子高齢化と人口減少が進むことは、地方の経済と自治体にとって大きな影響を与えます。また本町は旧合併特例法の下で、市町村合併を選択せず「当面自立」の方針で町政運営を進めることになりました。

2 計画期間

平成18年度から22年度までの5年間です。

3 基本方針

私たちが先人から受け継いできた平泉の文化遺産は、平泉 浄土思想を基調とする文化的景観」との名称で平成18年12月にユネスコ世界遺産センターに登録推薦書が受理され、順調にいけば平成20年に登録が見込まれています。従って本町は、基本構想において掲げた「やすらぎと文化をおりなす千年のまちづくり」という将来像に向かって、世界遺産にふさわしい環境、空間、文化を兼ね備え、そこに住む人にも町を訪れる人にも良さが感じられるまちを目指します。

分野別の主要施策

第1章 さわやか・平泉 美しい自然のまち

循環型社会の構築を目指して地球環境の保全の取り組みを進めるとともに、世界遺産に調和した美しい自然環境や自然景観の保全と創造に取り組みます。

◎自然環境・景観の保全

- ▽自然環境 豊かな自然環境を守り、次世代に継承するため、環境学習やエコツーリズムを推進します。
- ▽自然景観 景観条例の景観育成基準を町民と事業者、行政が共有するとともに、多自然型工法の採用や緑化を推進します。

第2章 あんしん・平泉 健やかな福祉のまち

すべての町民が健やかな生活を送ることができるよう、「健康ひらいずみ21計画」に基づき、健康づくりや保健サービスの充実を努めるとともに、地域医療体制の充実を図ります。また子どもから高齢者まで、だれもが安心して暮らせる地域社会をつくることにも、「次

◎福祉の充実

- ▽地域福祉 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業、ノーマライゼーションの普及を図るとともに、災害時要援護者避難支援プランの策定に努めるなど、社会福祉協議会や児童民生委員などと連携しながら地域福祉活動を促進します。
- ▽高齢者福祉 高齢者や障害者にやさしい住まいづくりを進めるとともに、認知症サポートの養成を行うなど、「平泉町老人保健福祉計画」に基づいた取り組みを進めます。
- ▽児童福祉 多様なニーズに対応した保育

また当面の自立を実効あるものにするため、行財政改革を進めながら、限られた財源を有効に活用し、「小さくともキラリと光るまちづくり」を進めます。

4 計画の構成

基本構想の施策の大綱にのっとり、7つの分野に体系付けられています。（左図）

5 目標値

基本構想では、人口、世帯数、就業者数の3項目について平成22年の目標値を設定しました。中間である17年の国勢調査の結果を見ると、おおむね推計通りに推移しており、目標の達成には一層の努力が必要となっています。

人口

平成12年		平成17年		平成22年	
実績値	推定値	実績値	推定値	目標値	
9,054	8,845	8,819	8,597	9,100	

世帯数

平成12年		平成17年		平成22年	
実績値	推定値	実績値	推定値	目標値	
2,409 (3.8人)	2,481 (3.6人)	2,479 (3.6人)	2,552 (3.4人)	2,700 (3.4人)	

()内は1世帯当たり人員数

6 数値指標

前期基本計画では、達成度を測る指標として67項目を設定しましたが、この中から達成したものや現在は適当でないものなどを見直し、後期基本計画では47の指標を設定しました。

- ▽削除したもの(27)：ISO14001取得団体数、グループホーム整備数、国指定史跡面積、宿泊観光客数など
- ▽継続したもの(40)：基本健康診査受診率、1人当たりごみ排出量、農業粗生産額、製造品出荷額、観光客入り込み数など
- ▽追加したもの(7)：AED自働体外式除細動器)設置数、木造住宅耐震診断実施数、消防団員充足率、町債残高など

計画の構成図

